

読書の豊かさについて

校長 城 美博

早いもので10月も終わろうとしています。近年感じるのですが、「秋」という季節の時間が、だんだん短くなっているような気がします。しかし、外を歩けばキンモクセイの香りが鼻を打ち、夜になると虫の音が優しく耳に入る、そんな秋の風情は私たちの心を穏やかにしてくれるものです。

さて、毎年11月3日の文化の日を中心に、前後2週間(10月27日～11月9日)は「読書週間」です。平成17年には読書週間初日の10月27日を「文字・活字文化の日」と定め、読書に親しみ、文字・活字文化についての関心と理解を深めるものとなりました。「灯火親しむの候」と言われるこの季節、生徒の皆さんには「読書の秋」を楽しんでほしいと思います。

ところで、私は国語の教員であると同時に、自分のことを市井の文学愛好者であると思っています。研究者のように専門的な知識はないけれども、特に小説を楽しみ味わうということにおいては、人後に落ちるものではないと自負しています。とにかく、面白い小説を読んでいると時を忘れてのめり込んでいく感覚は、私にとって至福と言っても過言ではありません。

私の最も敬愛する小説家は石川淳(1899～1987)という人で、時空を越えて縦横に展開する小説世界に最初に触れたとき(大学生の頃)、「こんなに面白い小説がこの世の中にあったのか」と目が覚めるような思いでした。私が虚構(フィクション)の魔術に魅入られた瞬間でありました。私にとって、現実社会の中で様々な出来事が起こった時や自分の心が挫けそうになった時、現実から逃避するのではなく、むしろそれを客観的に眺める視点を与えてくれるのが、小説という虚構(フィクション)なのです。

私たちの心は、現実の世界のことをすべて受け入れるにはあまりに脆弱で、現実世界は、虚構(フィクション)の中だけで満ち足りていることを許してくれるほど甘くありません。であるなら、逃げることができない現実世界の隣に、虚構(フィクション)というパラレルワールドを置いておき、時にはその中から現実世界をのぞき込み、自分が置かれた状況を他者の視点から眺めてみることによって、私たちの人生は豊かになっていくと私は考えます。

思いのほか狭い私たちの実体験に対し、読書という営みは、大げさに言えばこれまで全人類が積み重ねてきたあらゆる経験を、私たちに与えてくれるものです。それが、手許にある一冊の書物を開くという、ほんの小さなことから始まるとすれば、読書とはなんと豊かなものなのだろうという感慨を、私は禁じ得ないのです。

大学入学共通テスト100日前集会

10月6日(木)に57回生の共通テスト100日前集会および進学講演会を行いました。100日前集会では、城校長先生と3学年の萩原先生からの激励の後、生徒を代表して6組の浦上君が受験に向けての決意を述べました。これまでにやってきた学習に手ごたえを感じている人、もう一息で伸びを実感できそうな人など一人一人の状況は違いますが、あと100日さらに頑張る点数を伸ばし、57回生の全体で最後まで志望校合格に向けて頑張りたいと力強く語ってくれました。

また、今年度は英単語帳「ユメタン」や「東大リスニング」等の著者で作家の木村達哉先生をお招きし「必ず合格するために必要なファクターとは」という演題で講演をしていただきました。学力を伸ばすための秘訣は「自学」であること、また、英語力を伸ばすためには、英語に触れる機会を毎日つくることなど明るく前向きな言葉でお話をいただき、学年全体の士気を高めていただきました。最後は、佐西生に対する期待の言葉もいただき、お礼の言葉を述べた4組の福井さんをはじめ、改めて気を引き締めて受験勉強に臨む決意をした生徒が多かったようです。

これから、受験までの日数が少なくなっていく、焦りや不安を持つ生徒も出てくると思います。しかし、大切なことは「今できることを全力でやりきる」ということです。夢を実現するために、57回生一丸となって頑張っていきましょう。

【キャリア支援部 小佐々】



ふるさと創生大作戦 学年発表会(2学年)

10月13日(木)本校にて、「58回生 SDG's探求 全体発表会」が開催されました。当日は長崎大学の藤井准教授をはじめ外部の方に審査員としてきて頂き、生徒たちの研究、発表に対してありがたい助言を頂きました。当日の発表者は、9月15日に行われた学年報告会にて48の中から選ばれた8班でした。この8班は学年報告会が終わった後にもたくさんの先生方から助言をもらいながら改善を重ね、限られた時間の中で最高の発表に仕上げてくださいました。発表内容も、高校生の視点から様々なアイデアが多くありました。1位に選ばれたのは「あなたと Foreign Peopleにはどのような物語がありますか」と題した30班で、外国人にバスの乗り方をどのように教えるかという地域のことを考えたとても良い発表、取り組みでした。惜しくも学年報告会にて選ばれることができなかった他の40班も当日見学に来た1年生に向けてポスターセッションを行いました。佐世保のために何ができるか考え、社会の中で生きていくために必要な力を身に付けるよい活動となりました。

【2学年】



長崎大学学部説明会・講義体験

10月18日(火)の6・7時間目、本校にて長崎大学との高大連携事業が行われました。この事業は、最先端の研究内容や模擬授業を長崎大学の教授より直に講義して頂けるものであり、本校では毎年高校1年生(本年度は59回生)を対象に行われています。生徒たちは自分の進路希望に応じて11講座の中から2講座を選択し、各会場で講義を受けました。近年では、コロナ禍の影響でオンラインでのオープンキャンパス等が普及している状況ですが、同じ空間で直接講義を受ける体験は、やはり生徒にとって特別なものとなった様子でした。講義中はメモを取りながら真剣に話を聞く生徒の姿が多く見られ、自身の進路を考える上での有益な機会となっていることが窺えました。

【1学年 植島】



校内球技大会

前期終了日の10月7日(金)に1年生の球技大会が実施されました。計画では、ソフトボール・キックベースボール・バレーボールを実施する予定でしたが、前日からの雨により屋外でのソフトボールとキックベースボールが実施できず、室内での卓球へと変更になりました。

9月10・11日には西高祭が行われクラスでの思い出ができ、さらに今回の球技大会によってクラスのチームワークが増したことと思います。

競技の結果は以下の通りとなりました。

バレーボール	男子	優勝	1年1組	第2位	1年5組
バレーボール	女子	優勝	1年1組	第2位	1年6組
卓球	男子	優勝	1年1組	第2位	1年4組
卓球	女子	優勝	1年2組	第2位	1年4組

主な試合などの結果

<陸上部> ○令和4年度全九州高等学校体育大会新人陸上競技大会
男子 100m 第2位 2年 中川穂泉



<ハンドボール部>

○令和4年度佐世保地区高校新人体育大会ハンドボール競技大会
男子 優勝 女子 第3位



<柔道部>

○令和4年度佐世保地区高等学校新人柔道大会

団体戦 第3位

個人戦 60kg級 第3位 1年 木原正登

81kg級 第3位 2年 山口瑛太郎

100kg級 第3位 2年 山中大世

<放送部>

○令和4年度長崎県高等学校総合文化祭【放送専門部】

第44回九州放送コンテスト県北地区大会

【アナウンス部門】優秀賞 2年 本城龍志、1年 吉木和桜、2年 浦郷紗季
1年 木吉悠凜

【朗読部門】優秀賞 2年 戸浦颯音、優良賞 1年 伊藤結月

<写真部>

最優秀賞 「恋の行方」 2年 平田 萌 (全国大会出場決定)

優良賞 「魂」 2年 黒木すず

3年の部 最優秀賞 「ツナグ」 3年 合原 絆



《11月の予定》

2	(水)	長崎県高校駅伝大会	15	(火)	母の会3年生激励差し入れ
5	(土)	大学別模試(3年)1,2年進研記述	17	(木)	課題研究FW(2年)
6	(日)	第2回英検2次 2年進研記述	19	(土)	共通テストプレ①(全統)
8	(火)	校内マラソン大会	20	(日)	共通テストプレ①(全統)
9	(水)	校内マラソン大会予備日	23	(水)	コモンホール学習
10	(木)	デートDV防止講話(2年)	24	(木)	後期中間考査時間割発表 人生の達人セミナー
11	(金)	県総文祭開会式(午後・1年)	26	(土)	コモンホール学習
12	(土)	コモンホール学習			